



Essex Furukawa Magnet Wire LLC

# 持続可能性レポート

2024年9月



ビジョン 2030: 持続可能な未来、当社の原動力



マグネット ワイヤ業界の先駆者として、Essex Furukawa は革新と信頼性の長い歴史を誇ります。CEO として、私は当社のグローバル チームを誇りに思っており、特に持続可能性の取り組みから得られる努力と成果に満足しています。当社の年次報告書は、透明性とすべての人にとって持続可能な未来の創造に対する当社の姿勢を裏付けるものです。

報告書で強調されている主要な成果の1つは、炭素排出量を 29% 削減したという素晴らしい成果です。この成果は、環境への影響を最小限に抑えるために持続可能な慣行を実施するという当社の継続的な取り組みを反映しています。また、当社の炭素削減目標が Science Based Targets イニシアチブ (SBTi) に承認されたことを誇りに思います。この承認はスコープ 1/スコープ 2 だけでなく、スコープ 3 の排出量も対象としており、Essex Furukawa の事業とバリュー チェーン全体にわたる炭素排出量削減の努力を立証しています。

当社の幅広い環境、社会、ガバナンス (ESG) イニシアチブの一環として、サプライヤー行動規範を改訂し、サプライヤーがサプライチェーン全体で厳格な持続可能性基準を遵守するよう徹底しました。当社はこの規範を厳格化することにより、サプライヤーの説明責任を強化し、最終的には業界全体に前向きな変化をもたらすことを目指しています。

最後に、今年には水資源保全目標を追加しました。当社は、責任ある水管理の重要性を認識し、事業活動全体を通じて水の消費量を削減し、持続可能な水資源管理を促進する措置を実施することを目指しています。

これらの成果、そしてその他多くの成果は、より持続可能な未来を目指す「ビジョン2030」プログラムに賛同した従業員、パートナー、関係者の献身と努力の証です。



ダニエル・チョイ  
スーペリア・エセックス社長兼 CEO

# CEO からの 手紙

「  
当社は今後も、お客様  
へのコミットメント、従  
業員への支援、および  
地域社会への積極的  
な関与を継続してい  
きます。」





# 目次

2 CEO からの手紙

4 会社概要

5 主なハイライト

6 ビジョン2030 概要

7 グリーン生産

8 廃棄物埋め立てゼロ

8 エネルギー削減

8 再生可能エネルギー

9 炭素削減

9 節水

10 破壊的イノベーション

11 アジャイル デジタル化

12 包括的な持続可能性

13 説明責任、報告、ガバナンス

18 国連 SDGS パートナーシップ

19 廃棄物埋め立てゼロ

21 節水

22 炭素削減目標

23 責任ある調達

25 循環型経済

26 持続可能性リーダーシップ委員会

27 さらに未来へ向けて

28 付録

28 リソース

29 パフォーマンス データ表



# 会社概要

マグネット ワイヤ/巻線製造の世界的大手 Essex Furukawa は、常にイノベーションとエンジニアリングの限界を押し広げています。こうした取り組みを世界中で主導することで、サービス提供先の顧客の永続的な成功を促進しています。当社の各チームは、120 年以上の専門知識に基づき、自動車、商業、住宅、産業、エネルギー市場の企業と相互に利益のある関係を築き、それらの企業の成長に必要な製品とサービスを提供することが、ひいてはそのお客様の成功につながっています。当社の技術の進歩は、バリューチェーン全体で削減努力を強化している脱炭素化運動の一環です。最新の電気自動車、電力変圧器、業務用発電機をはじめとして、未来の原動力となるマグネットワイヤ/巻線を製造しています。

北米、欧州、アジアをカバーする Essex Furukawa による銅製/アルミニウム製マグネット ワイヤは、エナメル加工、巻き付け、押し出し成形と広範囲にわたり、ゲージ サイズにもメートル サイズにも対応します。垂直統合されているマグネット ワイヤ メーカーは当社だけです。製品の設計、開発、調達、製造、配送、そして安定供給が、3 つの大陸でシームレスにつながっています。

Essex Furukawa は、マグネット ワイヤ/巻線製品のイノベーションと製造における世界的リーダーです。





# 主なハイライト



**29%**  
CO<sub>2</sub> 削減量

年間 77,966 エーカーの森林の炭素吸収能力に相当<sup>1</sup>



**9%**  
再生可能エネルギーの利用  
8,528 世帯の年間電気使用量に相当<sup>1</sup>



**9**  
これまでに 9 つの工場が ZWTL を達成<sup>2</sup>



**43,331 トン**  
をリサイクル<sup>2</sup>



**3**  
3 つの工場が The Copper Mark 保証  
プロセスを達成  
責任ある銅生産のための世界的に認められた基準



**22**  
コミュニティ開発プログラム



**90%**  
サプライ チェーン全体の 90% が調査対象  
上流での ESG インパクトについて

<sup>1</sup> EPA 温室効果ガス換算計算機  
<sup>2</sup> 内部監査、第三者による検証を受けていない数値



# 持続可能な 未来、当社 の原動力

## ビジョン 2030



### グリーン生産

廃棄物、エネルギー消費量、二酸化炭素排出量、水消費量を世界規模で削減することで、持続可能性への取り組みを主導する



### 破壊的イノベーション

顧客とのパートナーシップ、顧客に対するサポートにより、市場を変革する製品とサービスを開発する



### アジャイル デジタル化

完全に統合され、持続的に自動化され、社会的責任を果たすことで、デジタルに精通した組織になる

Essex Furukawa が、*ビジョン 2030: 持続可能な未来、当社の原動力*を最初に発表したのは 2021 年 4 月でした。これは、持続可能な未来を創造するという共通の目標によって当社が行うそれぞれの決定、パートナーシップ、投資を推進することを宣言することで、当社のビジネスの将来を形作りました。最終的に目指しているのは、現世代のニーズをサポートしながら、将来世代のニーズを生かしていくことです。Essex Furukawa のコアバリュー、グリーン生産と破壊的イノベーションとアジャイル デジタル化は、このビジョンの達成に向けて努力するための柱です。

Essex Furukawa のグリーン生産とは、すべての基本理念を貫く共通項です。この点に注力することは、当社の生産にプラスの影響を与え、サプライチェーンにも影響を与えます。また、当社と炭素削減目標を支持するお客様との連携を図ることもできます。

破壊的イノベーションの目標はマグネット ワイヤ/巻線業界を変革することであり、そのためには、サプライチェーンを通じて、技術的進歩をサポートし推進する製品、機器、製造方法を導入します。当社は、材料、製品、設備に対する顧客の需要をサポートするために、1 世紀前のテクノロジーを破壊する新しい方法を開発します。また、製品のパフォーマンス向上を支援するためにリソースを展開し、それによってサプライチェーンの上流でも下流でも持続可能性への取り組みをサポートします。

当社のアジャイル デジタル化の目標とは、当社の従業員、顧客、サプライヤー、パートナーとのビジネス上のコラボレーションがシームレスになるテクノロジー環境により、世界クラスでデジタルに精通した企業になることです。当社が *ビジョン 2030* に向けて前進する中、社内チームが注力するのは、データを情報に変換することと、製造部門の従業員にインサイトを提供して優れた意思決定ができるようにします。





## グリーン生産

グリーン生産のビジョン2030の使命は、マグネットワイヤ/巻線業界内で持続可能なソリューションを生み出すリーダーとしてグローバルに認められることです。当社は、顧客とその継続的な持続可能性への取り組みをサポートするために、現在だけでなく将来のニーズにも応えられることを望んでいます。

グリーン生産では、次の5つのつながりに沿って、ビジョン2030の目標を達成します。

- > 世界中のすべての施設での「廃棄物埋め立てゼロ」ステータスの達成と保持
- > 再生可能エネルギー活用 の 確立と取り組み
- > エネルギー削減目標の設定と取り組み
- > 炭素削減目標の設定と取り組み
- > 水資源保全目標の設定と取り組み

イニシアチブ	3年目標 (2023)	7年目標 (2027)	10年目標 (2030)
埋め立て廃棄物ゼロ (ZWTL)	世界中のすべての工場 で ZWTL ステータスを達成する	ZWTL オペレーションをグローバルに監視して維持する	ZWTL オペレーションをグローバルに監視して維持する
再生可能エネルギー <sup>1</sup>	再生可能エネルギー利用率 17%	再生可能エネルギー利用率 27%	再生可能エネルギー利用率 32%
エネルギー削減 <sup>1</sup>	エネルギー削減率 3%	エネルギー削減率 6%	エネルギー削減率 10%
炭素削減 <sup>2</sup>	該当なし	該当なし	スコープ1 および 2: 22.5% の炭素削減 <sup>3</sup> スコープ 3: 22.5% の炭素削減 <sup>3</sup>
水の保全 <sup>2</sup>	該当なし	該当なし	水使用量 5% 削減





## 廃棄物埋め立てゼロ

持続可能な未来への道を歩み続けることは、Essex Furukawa の活動の中心であり続けています。グリーン生産を洗練されたものにするための取り組みには、当社のマグネットワイヤ工場、金属加工施設、化学処理場すべてにわたって廃棄物埋め立てゼロ（ZWTL）を達成することが含まれます。工場で ZWTL ステータスを達成するには、施設から出るすべての廃棄物の少なくとも 98% が、埋立地からも、廃棄物の流れを受け止める下流の材料管理組織からも、転換されなければなりません。

### 進捗状況

- > ZWTL ステータスを達成した工場 9 か所<sup>1</sup>



## エネルギー削減

エネルギー削減イニシアチブには、今後のマイルストーンとしている 2023 年、2027 年、2030 年での Essex Furukawa 工場のスコープ 1/スコープ 2 エネルギー源（つまり燃料と電力）のすべての削減予想が含まれます。すべてのエネルギー削減計算結果は、工場で生産に対するエネルギー効率が向上したかを示すため、生産に対してベンチマークされました。

### 進捗状況

- > 2023 年にエネルギー削減率 1.1% を達成<sup>2</sup>



## 再生可能エネルギー

Essex Furukawa で定義する再生可能エネルギーは、再生がしやすい天然資源やプロセスに由来するクリーンエネルギーです。調査対象の再生可能エネルギーには、太陽光、水力、風力などがあります。エネルギー削減目標とは異なり、再生可能エネルギーの進捗状況は総エネルギー消費量に基づいています。当社は、再生可能エネルギープロジェクトを世界中の各サイトで実施する可能性を継続的に調査研究することで、スコープ 2 のカーボンインパクトを低減するのに加え、可能であればグリーンエネルギー生産を実現しています。

### 進捗状況

- > 2023 年の再生可能エネルギー利用率 9%<sup>2</sup>

<sup>1</sup> 内部監査、第三者機関により未検証の数値  
<sup>2</sup> 2019 年の基準値と比較

 **炭素削減**

スコープ 1、2、3 の炭素削減目標を設定する際に、Essex Furukawa は、当社のグローバル フットプリント全体で温室効果ガス排出量を削減するという意図を明確に表明しました。当社では、組織として、また顧客の炭素削減目標をサポートするため、そうした削減への道筋を定義しました。Essex Furukawa では SBT (Science Based Targets) を温室効果ガス プロトコルに従って設定しており、2030 年までにスコープ 1/スコープ 2 の排出量を 22.5%、スコープ 3 の排出量を 22.5% 削減するという目標の達成を目指しています。こうした削減目標と進捗状況を伝えることで、Essex Furukawa は、さらなるアクションを引き起こすことができ、バリューチェーンの上流でも下流でもカーボンインパクトを地球全体で低減するために。

**進捗状況**

- > 2023 年にスコープ 1/スコープ 2 の排出量で削減率 29% を達成<sup>3</sup>
- > 2023 年にスコープ 3 の排出量で削減率 70% を達成<sup>3</sup>

 **節水**

当社は、水不足問題の解決に貢献する責任を認識し、生産量をベンチマークとした水資源保全目標を設定しました。同社は持続可能な慣行と革新的な技術を導入することで、2030 年までに水の消費量を 5% 削減し、環境への影響を最小限に抑えることを目指しています。Essex Furukawa は、ステークホルダーとの協力関係を築き、社内外でベスト プラクティスを共有することで、水資源に対して前向きで持続的な影響を生み出すことに注力しています。

**進捗状況**

- > 2023 年に新設され、2024 年に進捗状況を共有します。

<sup>3</sup> 2021 年の基準値と比較





# 破壊的イノベーション

当社は、材料と製造方法での破壊的イノベーションを創出する能力に照らして成功を評価します。つまり、当社は 2030 年までに次のものを得たいのです。

- > 有害な溶媒を使用しない新製品
- > プロセスのイノベーションと新生産方式の拡大
- > 日本にある当社のグローバル R&D イノベーション センターで特別に開発された新製品と新生産方式に対する 50% の二酸化炭素排出量の削減

さらに、当社は 2050 年を見据えて、グローバル R&D イノベーション センターで開発されたすべての新製品と新生産方式を、カーボン ニュートラルになるためのチャンスと捉えています。

Essex Furukawa は、破壊的イノベーションを通じて、すべてにとって持続可能な未来をサポートすることに取り組んでいます。顧客とのコラボレーションで、エネルギー、商業、住宅、産業、自動車市場を新技術で支援することが、当社による低炭素経済のサポートであり、これらの業界全体で影響を低減しています。

当社では、社内のコネクション ポイントで、次に挙げることへのサポートが可能になり、バリュー チェーン全体の改善につながる、と考えています。

- > 電気自動車 (EV) の普及と運送業界全体での効率性のサポート
- > 再生可能エネルギー技術を実現することによる、エネルギー部門とユーティリティ部門の発展
- > 省エネルギー技術による建物の電化
- > 産業のライフ サイクル全体で環境への影響を低減する複数の業界での取り組み





# アジャイル デジタル化

当社は、現在そして未来にわたって、建物、通信、テクノロジーをデジタル化することは、すべてのインフラストラクチャの相互接続を実現する機会と捉えています。より持続可能な世界をサポートするために、当社は次の措置を講じています。



## 完全統合

完全統合は、デジタル エコシステム間の接続を実現し、相互運用可能なシステムへセキュリティをもって接続されているデータとサプライ チェーンをサポートして、グローバルな業界標準に合致させる



## グリーン テクノロジー

グリーン IT (情報技術) に加えグリーン OT (運用技術) により、当社は、電子廃棄物の 100% リサイクルと電力効率の高い運用を可能にするプラットフォームと技術を開発する



## 持続可能な自動化

データ収集のプロセスを合理化し、持続可能性に関連するメトリックを生成することで、グリーン リサイクルを活用し、人間と機械との間での調和のとれた相互作用を可能にする



## 社会的影響

国連の持続可能な開発目標 (UN SDGs) への取り組みを通じて、私たちがサービスを提供するコミュニティに社会的価値をもたらします。

当社は、リアルタイムでデータに基づいた意思決定を行うことで運用効率を高めるグローバルな取り組みの中で、トランスフォーメーションとなる運用分析を拡大しています。また、当社では、クラウドベースのテクノロジーを活用して二酸化炭素排出量を削減するために、いくつかのテクノロジーも導入しています。

Essex Furukawa では、高度な運用技術によるビジョン 2030 ミッションを次の 10 年で完了できるよう複数の成果を実現することに重点を置いています。

- > データ、情報、システムをサイバーセーフに保つのに最適な組み合わせのサイバー セキュリティ機能を実装する
- > IT と OT のコンバージョンによる相乗効果を活用し、世界クラスの IT/OT 機能を当社のビジネスで実現する
- > 人工知能と機械学習を活用して、世界中のすべての施設にわたって生産システムの効率を向上させる
- > アジャイルな働き方を実践し、技術と知識を現地チームに提供して、お客様のニーズに最大限応えます。
- > 持続可能性メトリックのデータ収集を活用して、戦略的意思決定のための情報源とする
- > ブロックチェーンを利用して、サプライ チェーンの透明性とエンド ツー エンドの製品ライフ サイクル分析を探究する



# 包括的な持続可能性

当社のビジョン 2030 の目標を達成するため、Essex Furukawa では持続可能な未来を達成するための包括的アプローチの定義をさらに進めました。これらの 7 枚の花びらは、成功度を測定するだけでなく組織内の改善の機会を特定するための一助となる、具体的に測定可能なアクション アイテムを構築します。





## 説明責任、報告、ガバナンス

Essex Furukawa は一企業として持続可能性と環境保全に高い価値を置いています。複数の環境指令や規制に準拠することは、当社のコミットメントの証です。データ、目標、メトリックについて一貫性をもってお知らせする取り組みにより、当社はステークホルダーとの透明性を社内外で確立することができます。<sup>1</sup>当社は、影響低減の進行状況を追跡し、自社の持続可能性レポートを作成し、社会的責任への取り組みを促進するために、持続可能性リーダーシップ委員会を設立しました。

### 説明責任

Essex Furukawa は、当社が事業を展開する地域社会の環境保全と福祉を優先する道徳的義務があると固く信じています。この信念は、単に持続可能性を当社の事業運営に組み込むだけにとどまりません。世界に展開する各拠点はそれぞれ異なる特性を持ち、地域のニーズも多様であるため、各工場の判断に応じて最も効果的な地域貢献活動を行っています。

### コミュニティ開発

当社は、集団行動の力を信じ、その信念に基づいて、事業を展開する地域社会に前向きで持続的な影響を与えることを目指しています。当社は、ボランティア活動と寄付金の組み合わせを通じて、地域の取り組みを支援するためのアウトリーチ活動に積極的に投資しています。

青少年の育成は、当社の多くの拠点において共通の優先事項です。当社は、地域の青少年向けのスポーツなど様々な活動を支援するとともに、教育の重要性も認識し、学校と提携してメンターシッププログラムや教育リソースを提供しています。さらに学生が困難を克服し、可能性を最大限に発揮できるように経済的支援も行っています。

同社は若者を支援するだけでなく、地域社会に影響を与える資源の不安定化にも取り組んでいます。私たちのチームは地元の慈善団体と提携し、年間を通じて食料、衣類、おもちゃを寄付しています。また、フォート ウェインの拠点に「フェニー ストリート フード パントリー」という食料庫を設置し、十分な食料を得られない個人や家庭にとって重要な支援を提供しています。この食料庫の隣には小さな図書館「リトル ライブラリー」があり、あらゆる年齢層の読者が自由に本を利用できる環境を整えることで、識字能力の向上を目指しています。

地域の緊急対応者の献身と勇気も重視しています。当社は定期的に消防署や警察署に寄付を行い、地域社会の安全を守る取り組みを支援しています。

<sup>1</sup> Essex Furukawa マグネット ワイヤでは、ステークホルダーとは、当社の事業に影響を与える、または影響を受ける可能性のある個人またはグループ、あるいは、当社のリーダーシップチームが下し実行する決定に利害関係を持っている個人またはグループであると考えています。世界的に展開する非公開企業として、ステークホルダーには政府や規制当局、役員、従業員、顧客、サプライヤー、拠点周辺のコミュニティが含まれます。



## 説明責任 — 続き

### 環境保全

当社の多くの拠点では、地域周辺の美化活動に時間と労力を投じています。毎年の植樹活動は、当社の工場の周囲に緑の樹冠を広げることを目的としており、長年にわたり何百本もの在来樹が植えられてきました。当社の施設周辺地域の環境向上のため、地域の通りや河川の清掃活動を組織的に行っています。Essex Furukawa は、これらの取り組みや世界各地でのさらなる取り組みを通じて、環境への影響を軽減し、より環境に優しい未来の実現に貢献することを目指しています。

### 社会的影響

工場チームが主導する環境保全やコミュニティ開発の取り組みに加え、社員1人ひとりが自分にとって意義のある特定の活動に貢献することも奨励されています。

- > **Dollars for Doers** | Essex Furukawa は、従業員の寛大なボランティア精神をサポートしています。これらの個人の情熱をサポートするために、私たちは、チームにとって重要な目的をさらに支援するために寄付された時間と同額の助成金を、対象となる 501(c)(3) 団体に提供します。
- > **マッチングギフト** | マッチングギフトプログラムでは、社員が非営利団体に寄付する際、同額の寄付を会社から受け取ることができます。従業員の寄付金が 25 ドル以上の場合、暦年あたり従業員1人につき最大 1,500 ドルまで会社が同額を拠出します。

## 報告

- > **年次報告書** | 当社は、ステークホルダーへの一貫した情報提供を通じて透明性の確保に尽力しています。3 回目となるこの年次持続可能性レポートは、この取り組みの一環です。
- > **Carbon Disclosure Project (CDP)<sup>2</sup>** | Essex Furukawa は、2010 年移行、企業の環境的な透明性に関するグローバル開示システムである CDP を通じ、お客様に対してメトリックを報告します。
- > **EcoVadis<sup>2</sup>** | 2013 年以降、Essex Furukawa は多くの顧客に対し、EcoVadis を通じて報告しています。EcoVadis は、企業の持続可能性のビジネスへの統合を評価するための ESG 査定ツールです。
- > **環境認証** | 世界中にある当社の工場の多くでは、環境認証を受けています。詳細については、付録を参照してください。
- > **The Copper Mark Partnership** | The Copper Mark は、銅産業内で責任ある生産慣行を促進するための保証フレームワークです。Essex Furukawa の親会社 Superior Essex は、2021 年 5 月に The Copper Mark の 8 番目の企業パートナーとなりました。
- > **The Copper Mark Semis-Fabricator Pilot Certification:** | 2024 年 6 月、当社の北米の 3 つの工場（インディアナ州フォート ウェイン、インディアナ州フランクリン、インディアナ州コロンビア シティ）が The Copper Mark 保証プロセスを達成しました。

<sup>2</sup> CDP と EcoVadis は両方とも Superior Essex 親会社レベルで報告されます。

## レポート — 続き

- > **国連の持続可能な開発目標との整合性** | 国連の SDGs プログラムは、持続可能な開発のための 2030 アジェンダの一部として 2015 年に開始し、17 の持続可能な開発目標が定められています。この国々は、貧困などの欠乏を終わらせるために、健康と教育を改善し、不平等を是正し、経済成長を促進すると同時に、気候変動問題に取り組み、海と森林を保護するという戦略で連携しなければならない、ということを確認しています。
- > **ビジョン 2030 の目標** | Essex Furukawa は、2023 年、2027 年、2030 年のマイルストーンとなる年に向けて再生可能エネルギーの使用量を増やしなが、廃棄物、エネルギー、炭素排出量、水使用削減の目標達成に向けて取り組んでいます。

## ガバナンス

Essex Furukawa は、高品質製品の製造/提供と優れた顧客サービスで、インテグリティが最も高水準の企業としての評判を得ています。当社が誇りとするのは、何を達成しているかだけでなく、どのように成功を収めているかでもあります。この評判を守るため、当社は責任ある企業市民として振る舞いながら、顧客、従業員、すべてのステークホルダーの利益を最優先するための努力を続けています。このコミットメントには、何よりもまず、最高の倫理的/法的基準に従って行動することが求められます。

最高水準のインテグリティに対する当社のコミットメントは、Essex Furukawa のすべての従業員がコア バリュー (どのように行動するかを定義する価値観) を確実に理解することから始まります。こうした価値観は当社の倫理綱領の礎です。詳細とガイダンスについては、当社のビジネス行動規範を参照してください。





## ガバナンス—続き

### ポリシー



#### サプライヤー行動規範

当社は、サプライチェーンにおける労働環境の安全性を確保し、労働者が尊敬と尊厳をもって扱われるための基準を定めた「サプライヤー行動規範」を改訂しました。また、事業運営は環境に配慮し、倫理的に行われるという理解も確立しました。当社のサプライチェーンパートナーは、事業を展開する国の法律、規則、規制を完全に遵守するだけでなく、社会的、環境的責任とビジネス倫理を推進するために、国際的に認められた基準を活用する必要があります。



#### 人権方針

Essex Furukawa とその子会社は、すべての行いでインテグリティをもって行動することを約束します。当社は、世界中の人権の発展を尊重し、保護し、支援する方法で事業を行うことに専念しています。当社は、責任あるインテグリティベースの事業を行うため、国連の世界人権宣言にある国際基準の原則（無差別、機会均等、結社の自由、団体交渉の自由、現代の奴隷制や人間の人身売買や有害でも搾取的でもある形態の児童労働の撤廃など）が支持されるよう努めています。



#### 紛争鉱物に関するポリシー

Essex Furukawa とその子会社は、コンゴ民主共和国（DRC）での暴力の撲滅という人道的目標を支持し、サプライチェーン全体で紛争鉱物の責任ある調達に取り組んでいます。したがって、Essex Furukawa はこの紛争鉱物に関するポリシーを採用しており、すべてのサプライヤーが同様のポリシーを採用し、本ポリシーに定められた期待に応えるよう望んでいます。このポリシーを支持するEssex Furukawa は、DRC コンフリクトフリーの紛争鉱物を含む製品のみを購入します。<sup>3</sup> Essex Furukawa は、紛争鉱物の存在とその調達先について判断するため、製造し流通させる製品すべてに関してデューデリジェンスを実施しました。



#### 環境方針

環境に配慮した方法で業務を遂行することは、Essex Furukawa の既定方針です。当社は、大気、水、土地、その他の天然資源を含む自然環境を保全・保護するために、当社の活動、製品、サービスによる環境への影響を削減することに取り組んでいます。

<sup>3</sup> 「DRC 紛争フリー」とは、1934年のSEC法に基づくSEC規則13pで定義されているように、製品の機能または製造に必要な、武装集団に直接的または間接的に資金を提供したり利益をもたらしたりする紛争鉱物が製品に含まれていないことを意味します。

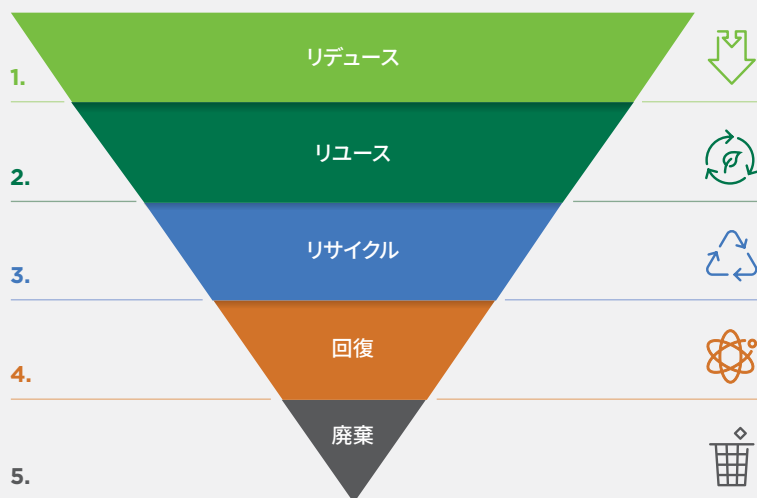
## ガバナンス—続き



### 廃棄物削減の階層

Essex Furukawa は総合的な持続可能性に取り組んでおり、当社の製造プロセスが環境に与える可能性のある潜在的な影響を考慮する責任があることを理解しています。

すべての廃棄物の流れが責任を持って処理されることを保証するために、埋立廃棄物ゼロ監査が毎年各工場で実施されています。さらに、すべての廃棄物を削減するために、次の包括的な手順を遵守します。



### 汚染軽減の階層構造

Essex Furukawa は、製造プロセスからの汚染物質の潜在的な影響に対処し、生物多様性の損失を回避するために、次の優先プロトコルを確立しました。これは、有害廃棄物、無害廃棄物、不活性廃棄物の環境への悪影響を軽減するだけでなく、回避、最小化、修復、およびオフセットを通じて地域社会の健康に積極的に貢献することを目的として設計された枠組みです。

- > **回避** | 有害な化学物質や原材料を設計で使用しない、または代替物を使用することで、避ける潜在的な悪影響を**回避**できます。
- > **最小化** | 当社製品の製造中に排出される汚染物質を**最小化**する能力も、周辺地域への潜在的な影響を軽減します。
- > **復元または回復** | 力を合わせて、汚染物質の影響を受ける環境地域やコミュニティを**回復**または**復元**することができます。
- > **オフセット** | 最後のオプションとして、最初の3つの取り組みでは軽減できなかった影響を**オフセット**することを試みます。





# 国連 SDGs パートナーシップ

Essex Furukawa は、自社の持続可能性への取り組みを国連の持続可能な開発目標の取り組みに沿って、国連 SDGs の 17 の目標のうち 12 の目標にコミットしています。<sup>1</sup>このパートナーシップにより、当社は、他のステークホルダーと共に共通の目的と行動の機会を特定すると同時に、すべての人々にとってより良い、より持続可能な未来を達成するために協力することができます。

<sup>1</sup> Superior Essex として親会社レベルでコミット。

<p><b>目標 3</b></p> <p>健康と福祉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針</li> <li>食料庫と小さな図書館</li> <li>日本での河川清掃活動</li> <li>蘇州での植樹活動</li> <li>従業員のワークライフ バランス プログラム</li> </ul>	<p><b>目標 5</b></p> <p>男女平等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人権方針</li> <li>サプライヤー行動規範</li> </ul>	<p><b>目標 6</b></p> <p>きれいな水と下水処理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>The Copper Mark</li> <li>環境方針</li> <li>トレオンでの雑排水の再利用</li> <li>日本での河川清掃活動</li> <li>水資源保全目標</li> </ul>	
<p>手頃な価格のクリーンエネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>再生可能エネルギー目標</li> </ul>	<p><b>目標 7</b></p> <p>ディーセント ワークと経済成長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>The Copper Mark</li> <li>破壊的イノベーション</li> <li>人権方針</li> <li>サプライヤー行動規範</li> </ul>	<p><b>目標 8</b></p> <p>産業、イノベーション、インフラストラクチャ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギー削減目標</li> <li>再生可能エネルギー目標</li> <li>破壊的イノベーション</li> <li>デルタ航空との SAF パートナーシップ</li> </ul>	<p><b>目標 9</b></p> <p>作る責任、使う責任</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>The Copper Mark</li> <li>ZWTL</li> <li>説明責任と報告</li> <li>サプライヤー行動規範</li> <li>トレオンでの雑排水の再利用</li> <li>水資源保全目標</li> </ul>
<p><b>目標 10</b></p> <p>人や国の不平等をなくそう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人権方針</li> <li>The Copper Mark</li> <li>従業員のキャリア成長プログラム</li> <li>サプライヤー行動規範</li> </ul>	<p><b>目標 11</b></p> <p>住み続けられるまちづくりを</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針</li> <li>大気への排出許可</li> <li>破壊的イノベーション</li> <li>トレオンでの雑排水の再利用</li> <li>蘇州での植樹活動</li> <li>The Copper Mark</li> </ul>	<p><b>目標 12</b></p> <p>気候行動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギー削減目標</li> <li>再生可能エネルギー目標</li> <li>炭素削減目標</li> <li>蘇州での植樹活動</li> <li>水資源保全目標</li> </ul>	<p><b>目標 13</b></p> <p>平和と公正をすべての人に</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人権方針</li> <li>The Copper Mark</li> <li>サプライヤー行動規範</li> </ul>
<p><b>目標 16</b></p> <p>パートナーシップで目標を達成しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>12 の目標にコミット (国連 SDGs の 17 の目標のうち)</li> </ul>	<p><b>目標 17</b></p>	<p><b>目標 17</b></p>	



## 廃棄物埋め立てゼロ

Essex Furukawa の地域チームは、2023 年に向けた埋め立て廃棄物ゼロ (ZWTL) 評価を完了し、現在、独立の第三者機関による検証を待っています。内部評価の結果、北米の 4 工場、欧州 3 工場、アジア太平洋地域の 2 工場が ZWTL 指定に必要なレベルを達成したことが判明しました。当社の工場のうち 6 つが 100% の転換率を達成し、昨年 99% の票かだったブラームシェ (ドイツ) は改善を見せました。

北米の多くの工場は今年一歩前進し、累積転換率が 95% から 97% に向上しました。7 つの拠点を合わせて、31,000 トン以上の廃棄物が転換されました。

- > インディアナ州フランクリン (米国) は、3 年連続で 100% の廃棄物転換率を維持しました。
- > インディアナ州コロンビアシティ (米国) にある金属加工センター (MPC) は、リサイクル活動の強化により、廃棄物転換率を 95% から 99% に向上させ、初めて資格基準を満たす水準に達しました。

- > トレオン (メキシコ) とインディアナ州フォート ウェイン (米国) はともに 98% の廃棄物転換率を達成し、ZWTL ステータスを維持しました。
- > シムコー (カナダ、オンタリオ州) は 97% に低下し、ZWTL ステータスを失いましたが、インディアナ州フォート ウェイン (米国) の化学処理センターは、廃棄物転換率を 96% に向上させました。
- > さらに、テネシー州フランクリン (米国) のマグネット ワイヤ工場では、ZWTL 評価において廃棄物転換率が 86% であることが確認され、前回の評価から改善されました。





セルビアとドイツのヨーロッパの工場はすべて、最新の評価サイクル中に埋立廃棄物ゼロのステータスを維持しました。

- > ズレニャニン (セルビア) は 3 年目も 100% の転換率を維持しました。
- > パート アーロルゼン (ドイツ) も転換率 100% を維持しました。
- > 一方、ブラームシェ (ドイツ) も 100% に改善しました。

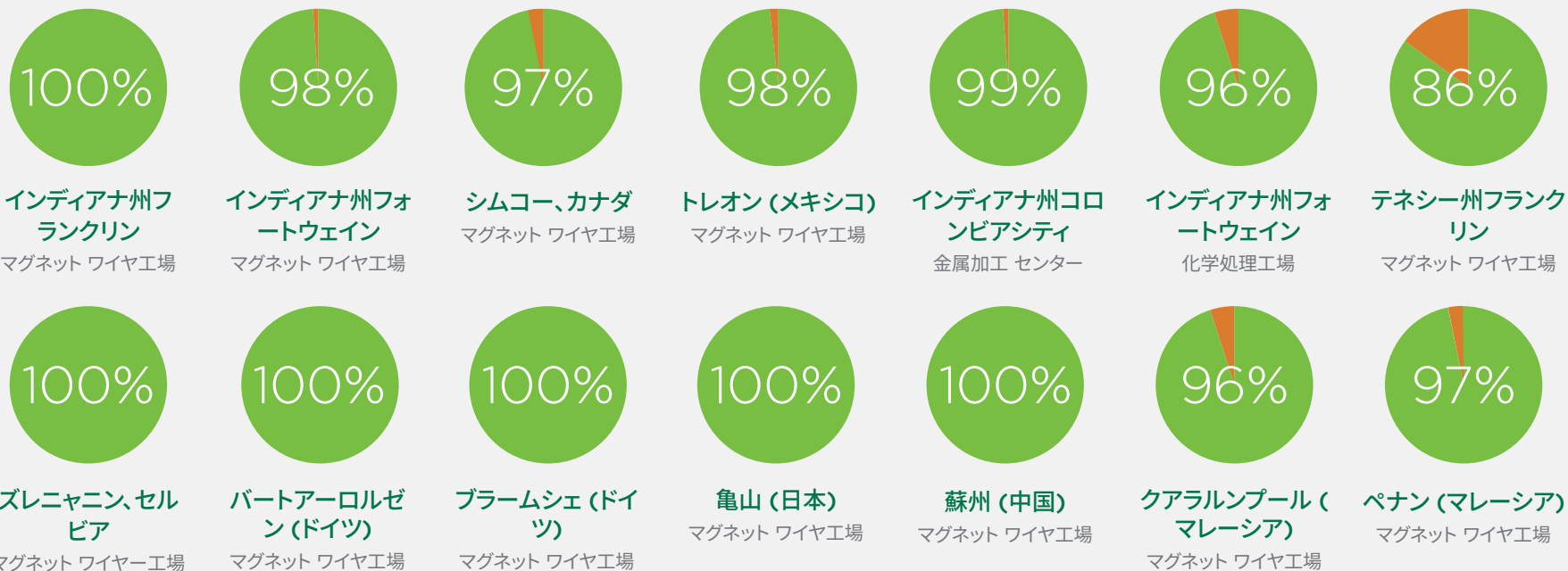
アジア太平洋地域の工場のうち 2 か所が ZWTL ステータスを保持していま

す。

- > 亀山 (日本) および蘇州 (中国) はともに ZWTL 認定を維持し、2 年連続で 100% の廃棄物転換率を達成しました。
- > マレーシアのパナンおよびクアラルンプールの工場は、昨年よりも廃棄物転換率を向上させ、ZWTL ステータスの達成に向けた取り組みを続けています。パナンは 97% と評価され、5% 向上しました。クアラルンプールは 1% 上昇して 96% に達しました。

Essex Furukawa は世界全体の累計で 98% の廃棄物転換率を達成し、ZWTL 認定を得ました。当社は 45,000 トン以上の廃棄物について、埋立処分を回避しました。

## ZERO WASTE TO LANDFILL





## 節水

Essex Furukawa は、包括的な持続可能性を信念としており、その分野が常に変化していることを理解しています。そのため、水資源保全への取り組みを加えたことを誇りに思っています。責任ある企業市民として、当社は事業を展開する地域社会の長期的な存続を確保するために、地元の水資源を保護することの重要性も認識しています。当社は、水不足と公衆衛生の重要な関連性を理解し、積極的な措置を講じてこの喫緊の課題に対処することを目指しています。水不足は世界中で何百万人もの人々に影響を与え、公衆衛生、食糧安全保障、経済発展に脅威を与えており、懸念が高まっています。

当社は全社的に、この問題の解決に貢献する責任を認識し、新たな水資源保全目標を設定しています。当社は持続可能な実践と革新的な技術を導入することで、水の消費量を削減し、環境への影響を最小限に抑えることを目指しています。

私たちは地域チームと協力して、これらの目標を達成するための行動計画を作成しました。メキシコにあるトレオン工場では雑排水プロジェクトを開始し、これが非常に成功したため、地元のコミュニティのリーダーたちがそれを自治体でどのように活用できるかを調査しています。インディアナ州コロンビアシティにある当社の金属加工センターには、不純物の除去と水の無駄の削減に役立つサイドストリーム フィルターが設置されました。さらに、当社は、より効率的な水の使用を目的として、ボイラーや冷却塔に関連する数多くのプロジェクトを世界各地で立ち上げました。また、計測およびろ過設備のアップグレードも行いました。

Essex Furukawa は、水不足に効果的に対処するためには協力が重要であることを認識しています。そのため、包括的な水管理戦略を策定するために、地域社会、政府、およびステークホルダーと緊密に協力して取り組んでいます。Essex Furukawa は、パートナーシップを育み、ベスト プラクティスを共有することで、水資源に前向きで持続的な影響を与えることを目指しています。







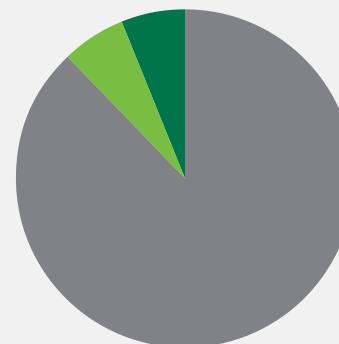
## 炭素削減目標

Essex Furukawa は、従業員やパートナーに組織としての温室効果ガス排出削減の道筋を明確に示すため、炭素削減目標を設定しています。当社の炭素削減目標と進捗状況を伝えることで、バリューチェーンの上流から下流までさらなる取り組みが促進されると考えています。

2030年までに、スコープ1/スコープ2の排出量を基準年の2021年から22.5%削減することを目指しています。また同じ期間内にスコープ3の排出量についても同率の削減に取り組んでいます。これらの目標は、2023年11月に科学的根拠に基づく目標イニシアチブ(SBTi)によって検証されました。2023年にスコープ1/スコープ2の排出量29%削減の達成を発表できることを誇りに思います。この成果は主に、中国、ドイツ、日本、マレーシア全土における再生可能エネルギー源への戦略的投資によるものです。

持続可能性への取り組みの一環として、当社は、従来のエナメル銅マグネットワイヤと押し出し樹脂アルミニウムマグネットワイヤという2つの主要製品タイプについて、包括的なライフサイクル評価(LCA)を実施しました。これらの評価は「グレードルツェーゲート(採掘から製品出荷まで)」方式を用いて行われ、鉱山から当社の生産プロセス全体を経て製品が施設を出るまでの環境影響を徹底的に評価しました。

当社は企業として、電線・ケーブル業界全体で持続可能な取り組みを推進することに引き続き尽力します。当社は再生可能エネルギーへの投資を優先し、厳格な環境評価を実施することで、より環境に優しい未来に向けて積極的な取り組みを行っています。



### 炭素排出量

- スコープ1 - 6%
- スコープ2 - 6%
- スコープ3 - 88%

### スコープ3 排出量

当社は、スコープ3排出量への影響をより深く理解するために、サプライチェーンからのESGデータを継続的に分析しています。2023年には、スコープ3排出量をより正確に特定する上で大きな進歩を遂げ、スコープ3排出量が総排出量の88%を占め、そのうち77%がサプライヤーから直接発生していることがわかりました。

2023年には、2021年の基準と比べてスコープ3の排出量を70%削減しました。そのうち72%は上流部門での排出削減量です。

当社の活動から生じる間接的な排出を含むスコープ3の排出を評価することで、当社は自社のカーボンフットプリントを包括的に把握できます。このデータ主導のアプローチにより、Essex Furukawaはサプライヤー情報を分析し、ステークホルダーに責任を持たせるとともに、情報に基づいた調達判断を行うことができます。





## 責任ある調達

Essex Furukawa は、銅を含む製造プロセスで使用される材料の責任ある調達に重点を置いています。このアプローチは、倫理的、持続可能、社会的に配慮した方法で製品を調達することを積極的に意識したものです。また、当社は、潜在的なリスク、改善の機会、情報ギャップを調査し、それをすべての関係者に伝えるなど、サプライチェーンの影響を理解する責任を負っています。

当社はサプライチェーンに関する詳細なインサイトを継続的に得ており、これらのインサイトが当社の購買ポリシーに直接影響することから、より包括的なアプローチとして、サプライチェーンの透明性と責任ある調達の全体的な要素を統合することにしました。

さらに、これらのインサイトは、国際的に認められた基準を参考にして社会的・環境的責任、およびビジネス倫理を推進するための改訂版 **サプライヤー行動規範**の作成にも役立ちました。

### グリーン コッパー

当社がサービスを提供する多くの市場で炭素影響の削減への関心が高まる中、Essex Furukawa は、より環境に優しい代替案の必要性を認識しています。サプライチェーンはまだ「グリーン コッパー」に対する幅広い要求に応える体制が整っていませんが、当社は社内外で進展している多くの革新に勇気づけられています。

Essex Furukawa は、持続可能性を業界の最優先にすることに尽力する専任のサステナビリティチームを持っている点で、競合他社と一線を画しています。当社は、お客様が脱炭素化と責任ある資源利用という新しい状況に対応できるよう支援します。当社は直接協力することで、最高の品質とパフォーマンス基準を確保しながら、相互の持続可能性の目標を満たす、カスタマイズされた信頼性の高いソリューションの提供を目指しています。

### 再生銅

- > 当社は、北米工場の金属加工センターでマグネット ワイヤの製造から出るすべての余剰銅を社内でリサイクルしています。同様のリサイクルはグローバルに行われています。当社の多くのサプライヤーも、カソード製造において銅をリサイクルしています。

### 低炭素銅

- > 現在、当社の欧州の顧客は、1 kg あたりの CO<sub>2</sub> 排出量が 1.5kg 未満の低炭素カソードを選択できます。これは、国際銅協会 (ICA) が提示した世界平均の半分にもなりません。





## 戦略的パートナーシップ

### The Copper Mark

- > 当社の二酸化炭素排出量に最も大きな影響を与えるのは、サプライチェーンと銅抽出です。このデータに基づいて、当社は 2021 年に The Copper Mark と提携し、銅製品の持続可能で責任ある調達と生産がバリューチェーンにどのような影響を与えるかをより明確に定義しました。
- > 当社は、Semis-Fabricator Pilot に参加することで、The Copper Mark とのパートナーシップを拡大しました。The Copper Mark Semis-Fabricator Pilot Certification: | 2024 年 6 月、当社の北米の 3 つの工場（インディアナ州フォートウェイン、インディアナ州フランクリン、インディアナ州コロンビアシティ）が The Copper Mark 保証プロセスを達成しました。
- > 現在、北米で調達する銅の 83% は、The Copper Mark を達成した施設から供給されています。さらに、当社は世界的に追加の供給源を積極的に探しています。当社は、Chain of Custody Pilot に参加しており、これには、下流のステークホルダーだけでなく、上流の認定されたステークホルダーの一部も含まれます。



40

調査対象サ  
プライヤー



90%

総支出に占  
める割合



43%

サプライヤー  
の応答率



54%

サプライヤー ESG パフ  
ォーマンス スコア

### Waybridge

- > サプライチェーンの効率と信頼性を向上させる取り組みとして、当社は物流を改善し、予測データを増加させ、在庫切れの解消を目標とした在庫切れの削減を支援するテクノロジーに投資してきました。
- > 当社のオペレーティングシステムは、工場への原材料出荷の進捗状況を追跡し、潜在的なサプライチェーンの問題が当社、そして最終的には下流の顧客に影響を与える前に、積極的に対処することができます。

### 同意

- > 当社は、変化し続ける環境、社会、ガバナンス (ESG) のパラダイムにおいて、調達活動に関連する特定のデータを収集、集約し、報告する必要があると考えています。
- > 当社は、サプライチェーンに関連するこの情報を収集し、検証するために、最も重要なサプライヤーと連携する第三者と契約を結んでいます。



## 循環型経済

Essex Furukawa では循環型経済を、気候変動、廃棄物、汚染、生物多様性喪失など地球規模の課題に取り組むシステムと見なしています。ビジョン2030の柱に沿うことは、自ずと製品のライフサイクルを改善し、二酸化炭素削減の目標に貢献して、顧客の価値観に沿うこのシステムを構築すると考えます。

### 再生銅

廃棄物を排除し、原材料の採掘によるエネルギー消費を削減するために、当社は北米工場の金属加工センターでマグネットワイヤの製造から出る余剰銅をリサイクルしており、世界中の拠点で同様のプロセスを導入しています。

### 廃棄物埋め立てゼロ

ビジョン2030の埋め立て廃棄物ゼロという世界的な目標の達成には、アップサイクリングも含まれます。当社の生産プロセスには副産物があり、これらは、それらの材料を再利用できる外部の市場や業界とのパートナーシップを通じて埋め立て地から転用されます。

### 梱包

当社では、お客様のニーズを満たすためにパッケージのデザインを定期的に評価しています。そのプロセスには、製品を安全に保つために必要なセキュリティと強度を犠牲にすることなく、再利用、改装、または配送方法の完全な見直しが含まれます。また、そのプロセスで持続可能性への取り組みを強化することもできます。

このパッケージングの革新の一例は、ヨーロッパとアジアのチームによるものであり、木製のパレットよりも高品質で長寿命、かつ輸送重量が軽く、返却可能なリサイクルプラスチックパレットを採用しています。この取り組みは、環境に配慮したサプライチェーンをサポートするだけでなく、再利用の閉ループシステムを推進し、廃棄物を最小限に抑える重要なステップでもあります。



# 持続可能性リーダーシップ委員会

Essex Furukawa 持続可能性リーダーシップ委員会 (SLC) は、ビジョン 2030 のイニシアチブをさらに前進させるために 2021 年に設立されました。SLC には、組織全体から選抜された主要ステークホルダーがおり、事業に関してバランスがとれていながらさまざまに異なった視点を提供しています。このグループは定期的に会合を開き、社内外のコミュニケーションからのインサイトを提供するほか、包括的な持続可能性への取り組みの将来に関する提案を行います。SLC の目標は、ビジョン 2030 が当社の意思決定に常に存在するようにすることです。

SLC に加えて、他の主要分野 (破壊的なイノベーション、アジャイルデジタル化、および責任ある調達) に焦点を当てるために 3 つの小委員会が開設されました。

## 破壊的イノベーション小委員会

世界中の研究開発リーダーが主導するこの小委員会は、環境への影響が少ない材料と生産方法の両方を革新する破壊的イノベーションの目標を支援するために、MagForceX® イノベーション センター チームによって開発されている主要な取り組みについて報告します。

このグループは、グローバル オペレーションおよびグローバル R&D 担当の SVP が主導しています。このメンバーには、グローバル R&D 担当副社長、北米イノベーション センター副社長、並びに日本イノベーション センター所長も含まれます。

## アジャイル デジタル化小委員会

Essex Furukawa は、テクノロジーの能力を認識しているデジタルに精通した組織です。当社は現在、当社のグローバル フットプリント全体で効率性とベスト プラクティスを導入しています。

この小委員会は、最高情報責任者とビジネス システム担当マネージャーが主導し、IT チームと OT チームの進捗状況を報告します。両チームは、システムが完全に統合され、持続的に自動化され、社会的責任を果たすために取り組んでいます。

## 責任ある調達小委員会

環境への影響を削減する一環として、この小委員会は、ビジョン 2030 の目標を達成する上でサプライ チェーンが果たす役割をより深く理解することを目指しています。環境や地域社会への影響を考慮した責任ある方法で購買決定が行われるようにするとともに、品質とコストの管理を徹底することで、その影響を軽減することを目指しています。

戦略的調達担当グローバル副社長が主導するこの小委員会には、戦略的調達アナリストも含まれています。委員会は、サプライ チェーンのマッピングを報告し、実践と業績に関する情報を提供するほか、潜在的なリスク、改善の機会、データのギャップについて調査します。



# さらに 未来へ向けて

Essex Furukawa は、ビジョン2030の発表以来の歩みに誇りをもっており、その進歩が将来にわたって続くことを嬉しく思っています。この年次持続可能性報告書は、当社の総合的な持続可能性への取り組みにおける基本的な指標となります。絶え間なく変化する状況では、環境、社会、企業ガバナンスへの取り組みには、透明性、ベンチマーク、そして機敏であり続けることが求められます。

来年にかけて、ビジョン2030は、顧客の優先事項だけでなく、当社の期待にも応えるように設計された追加プロジェクトを含めるように進化していきます。次のような計画があります。

- 2024年に3番目のマグネットワイヤ製品のライフサイクル評価(LCA)を完了し、2025年にはさらに2つを完了する予定です。
- 銅マーク認証を世界の他の地域に拡大することを検討する
- 再生可能エネルギーへの継続的な投資
- 社会への影響に焦点を当てたプログラム
- 国際基準を満たすために報告構造の変更を開始する



# 付録



クリックして外部リソースへ移動

## リソース

ビジョン2030 および以下を含む当社の総合的な持続可能性プログラムを支援するいくつかのイニシアチブは2023年7月から実施されています。

- > [Essex Furukawa 工場、マグネットワイヤ業界で初の The Copper Mark を取得](#)
- > [Essex Furukawa の従業員が協力して地域を清掃](#)
- > [フランクリン工場が「全米安全月間」を重視し、安全性向上の取り組みを強化](#)
- > [製造マネージャーが若年層を鼓舞し、技能職を推進](#)
- > [Essex Furukawa の従業員がアートワークショップを通じて地域の小学校に貢献](#)
- > [蘇州の従業員は持続可能性と地域社会への関与を促進するために植樹の伝統を継続しています](#)
- > [トレオン工場が国際女性デーを祝う](#)
- > [カナダ・シムコーの Essex Furukawa の従業員が、困っている人々に寄付を行う](#)
- > [Essex Furukawa、感謝祭の七面鳥のプレゼントとフードバンクへの寄付で喜びを広げる](#)
- > [フォート・ウェイン事業所が持続可能な廃棄物管理の促進に向けて圧縮梱包機を導入](#)
- > [Essex Furukawa、SBTi から炭素削減目標の承認を取得](#)
- > [Essex Furukawa がセルビアで安全デモンストレーションを実施](#)
- > [Lacroix + Kress と Essex Furukawa の従業員と家族が合同秋祭りを開催](#)
- > [山火事が激化する中、人事コーディネーターは冷静さを保つ](#)
- > [トレオン工場、環境への取り組みでメキシコ政府から表彰を受ける](#)
- > [循環型経済を完成させるプラスチックパレット](#)
- > [家族で楽しめる夏祭りが日本工場に喜びと楽しみをもたらす](#)

ビジョン2030に関する最新ニュースやこれまでの進捗状況については、当社の[ウェブサイト](#)および[LinkedIn](#)ページをご覧ください。

当社ニュースレターにご登録ください。

### > 保証プロセス

- Keramida, Inc.
- ARCHE アドバイザー

### > 環境マネジメント システム (EMS) 認証

- ISO 14001-2015
  - ブラームシェ (ドイツ) マグネット ワイヤ工場
  - パートアーロルゼン (ドイツ) マグネット ワイヤ工場
  - ズレニャニン (セルビア) マグネット ワイヤ工場
  - クアラルンプール (マレーシア) マグネット ワイヤ工場
  - ベナン (マレーシア) マグネット ワイヤ工場
  - 蘇州 (中国) マグネット ワイヤ工場
  - 亀山 (日本) マグネット ワイヤ工場
  - トレオン (メキシコ) マグネット ワイヤ工場
  - インディアナ州コロンビアシティ (米国) 金属加工センター
  - インディアナ州フランクリン (米国) マグネット ワイヤ工場 (検証待ち、2023年予定)

### > エネルギー管理システム (EnMS) 認証

- ISO 50001-2018/2011
  - ブラームシェ (ドイツ) マグネット ワイヤ工場
  - パートアーロルゼン (ドイツ) マグネット ワイヤ工場

### > 労働安全衛生マネジメント システム (OHSMS) 認証

- ISO 45001-2018
  - 蘇州 (中国) マグネット ワイヤ工場
  - ベナン (マレーシア) マグネット ワイヤ工場
- JISHA OSHMS
  - 亀山 (日本) マグネット ワイヤ工場

# 付録—続き

## パフォーマンス データ表<sup>1</sup>—環境

### エネルギー

#### > エネルギー消費量 | MWh/MT

	2019	2021	2022	2023
非再生可能燃料購入量と消費量	1.383	1.332	1.330	1.325
非再生可能電力購入量	0.777	0.814	0.612	0.618
非再生可能エネルギー総消費量	2.160	2.146	1.942	1.943
再生可能エネルギー総購入量 または総生成量	0.004	0.003	0.216	0.196
総エネルギー消費量	2.163	2.149	2.158	2.138

### 水

#### > 水使用量/使用状況 | m

	2021	2022	2023
総取水量	539,155	600,052	642,014
水の消費量	169,347	185,927	200,918
総排水量	369,808	414,125	441,096

<sup>1</sup> 値に含まれるのは当社の製造拠点のみでの大気への排出量、水使用量、エネルギー消費量

<sup>2</sup> 温室効果ガスプロトコルの市場ベースのアプローチに従ったもの

### 排出量

#### > 温室効果ガス排出量 (GHG)<sup>2</sup> | MT CO<sub>2</sub>e

	2021	2022	2023
スコープ 1	94,965	86,769	81,320
スコープ 2	136,742	92,320	81,782
スコープ 3 <sup>3</sup>	3,874,458	1,300,682	1,153,575
合計 (スコープ 1 とスコープ 2)	231,707	179,089	163,102

#### > 大気への排出量 | トン

	2021	2022	2023
有機化合物	189	204	256

### 廃棄物

#### > 廃棄物の転用 | MT

	2021	2022	2023
リサイクル	29,647	21,825	43,331
廃棄物エネルギー (WTE)	87	173	1,826
埋立地	1,035	1,020	1,086
総廃棄物回避率	97%	96%	98%

### 環境事象

	2021	2022	2023
報告対象となる危険または有毒な化学物質の流出または放出	0	0	0
重大な環境イベントの数	0	0	0



# 付録—続き

## パフォーマンス データ表 1—社会

### 雇用

#### > 従業員デモグラフィクス

	2021	2022	2023
従業員数	2,060	2,128	2,171
30 歳未満	19%	19%	18%
30～50 歳	50%	51%	51%
50 歳超	31%	30%	31%
女性従業員総数	12%	13%	12%
指導的地位にある女性の総数 <sup>3</sup>	2%	2%	2%

### 労働安全衛生

	2021	2022	2023
労働安全衛生マネジメント システムを導入している拠点数	14%	14%	14%
業務上災害死亡者総数	0	0	0
従業員の記録災害度数率 <sup>4</sup>	11.70	12.84	13.22

### 地域社会

	2021	2022	2023
地域コミュニティ開発プログラムの総数	5	8	22

<sup>3</sup> マネージャー以上

<sup>4</sup> 国際的な災害度数率

<sup>5</sup> 環境コンプライアンスのコストと料金

### 人権

	2021	2022	2023
大規模人権侵害件数	0	0	0

## パフォーマンス データ表 - 財務

### 財務 | 米ドル

	2023
政府への支払いの開示 <sup>5</sup>	1,424,883

## パフォーマンス データ表 - サプライ チェーン

### サプライヤー ESG メトリック

	2022	2023
要求されたサプライヤーの総数	40	40
総支出に占める割合	80%	90%
回答率	29%	43%

### サプライヤー パフォーマンス スコア

	2022	2023
環境	42%	40%
社会	74%	69%
ガバナンス	66%	66%
全体	60%	54%



09-2024  
©2024 Essex Furukawa Magnet Wire LLC All Rights Reserved

[essexfurukawa.com](http://essexfurukawa.com)